

会告
----



## 「中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害メカニズムの究明と 地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究討論会」の開催のお知らせ

共催：（公社）土木学会  
（公社）地盤工学会関東支部

近年、毎年のように繰り返される豪雨とそれに起因する土砂災害が頻発するなか、平成29年7月の九州北部豪雨では、線状降水帯による豪雨、広域的かつ同時多発的な斜面崩壊、中小河川での土石や流木の流入・閉塞による洪水氾濫が発生し、甚大な被害が発生しました。また、平成30年7月豪雨においても西日本各地で甚大な被害が発生し、国土面積の約7割を占める中山間地域における土砂災害、水害に対する地域防災力の脆弱さが露呈しました。今後も、これまでに経験したことのないような大雨がどこでも降ることを考慮すれば、豪雨災害に対する備えをより一層進めることが重要となります。

公益社団法人土木学会地盤工学委員会では、水工学委員会ならびに土木計画学委員会と共同で、平成30年度土木学会重点研究課題「中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害メカニズムの究明と地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究」に取り組み、近年の豪雨災害に対する課題の抽出や将来にむけた提言を取りまとめました。また、地盤工学会関東支部では、自然災害に対する安全性指標（GNS）の開発を進め、都道府県レベルから市町村レベルのGNSについて取りまとめ、自然災害のホットスポットの抽出を行っています。ここに、両委員会の研究活動の成果を広く共有し、豪雨防災に資するよう多角的な議論を行うことを目的として、研究討論会を下記のとおり開催します。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

日時：2019年 7月 2日（火）13:00～16:50（予定） 開場12:00～

会場：（公社）地盤工学会大会議室（東京都文京区千石4-38-2、電話：03-3946-8677）

アクセス：都営地下鉄三田線・千石駅（A4番出口）徒歩3分 JR山手線・巣鴨駅 徒歩10分

会費：無料

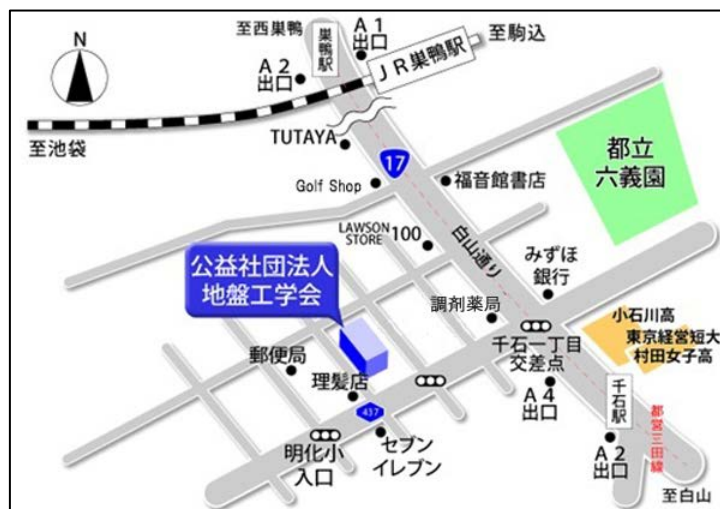
定員：80名程度

CPD：3.5単位

配布資料：平成30年度重点研究課題報告書

参加申込み方法：本紙裏面参照

参加申込み期日：2019年6月25日（火）



## プログラム :

司会進行 : 吉川修一 (八千代エンジニアリング)

時間	タイトル	発表者
13:00~13:05	開会挨拶	鈴木素之 (山口大学)
13:05~13:25	最近の広域的な豪雨に関する状況の抽出	原 重守 (古川コンサルタント)
13:25~13:45	広域的かつ同時多発的な土砂災害事例の選定と技術的検討	北爪貴史 (東電設計)
13:45~14:05	中山間地域で問題となる地形・地質の特徴	片山直樹 (日本海技術コンサルタント)
14:05~14:25	中山間地域の土砂災害発生の傾向と対応策の検討	美馬健二 (太田ジオサーチ)
14:25~14:55	討論	
14:55~15:15	休憩	
15:15~15:35	土砂や流木の河道への流入による洪水氾濫の発生の検討	竹林洋史 (京都大学防災研究所)
15:35~15:55	地域住民の避難行動の状況及び現状の地域防災力の状況	畑山満則 (京都大学防災研究所) 稲垣秀輝 (環境地質)
15:55~16:15	自然災害に対する安全性指標「GNS」～土砂災害・洪水災害を組み込んだ市町村別リスク指標～	伊藤和也 (東京都市大学)
16:15~16:45	討論	
16:45~16:50	閉会挨拶	伊藤和也 (東京都市大学)

## 申込み方法 :

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内 (<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>) の「本部参加申込書」に所定の事項 (特に行事コード番号) を明記のうえ, 研究事業課行事担当宛に FAX (03-3355-5278) でお申し込み下さい。申込到着後, 開催日 1 週間前までに折返し「参加券」をお送りいたします。土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp> の一覧中の当該行事) から申し込みが出来ます。

申込みに関するお願い

- (1) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお, 締切日以降の事前受付はいたしません。ただし, 定員に余裕がある場合のみ, 行事当日に会場にて受付いたします。
- (2) お申込み後, やむを得ずキャンセルされる場合は, 必ず開催日の 1 週間前までに上記の「問合せ」にメールにてご連絡ください。